

受光量向上によるナス「PC筑陽」の増収技術

背景

本県の冬春ナスの主要品種「PC筑陽」は、樹勢が弱く収量が低下しやすいのが問題でした。

成果の内容

光環境を改善し、栽植密度を高めることで増収します。

(従来)



直達光フィルム

+



黒マルチ

+

株間60cm

(開発技術)



散乱光フィルム

+



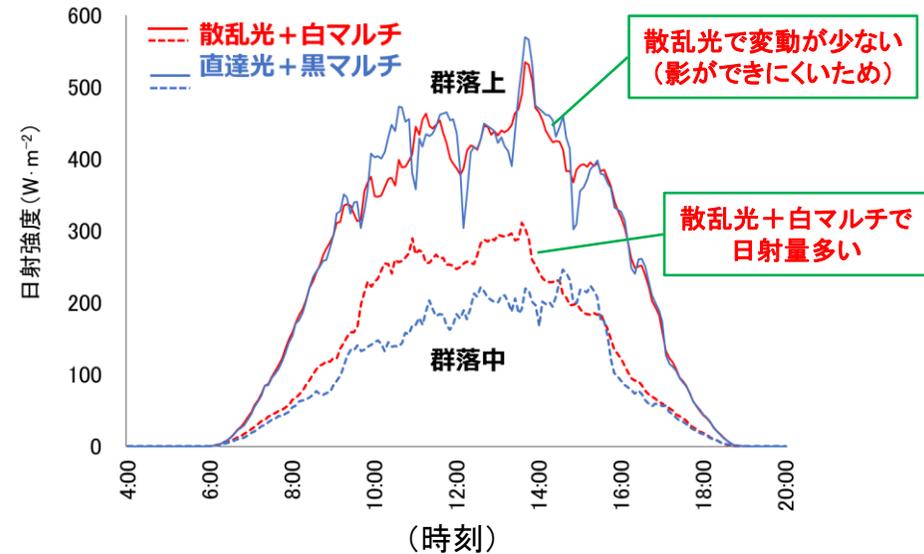
白マルチ

+

密植
株間48cm

天井からの散乱光＋白マルチによる反射光
→ナス樹体の光環境が改善

ナス群落内の光環境が改善



収量(従来)

25.3t/10a

収量(開発技術)

29.3t/10a

16% 増収

(筑後分場)